Thunderbird の既存アカウントの先進認証への設定変更手順

 Thunderbird の「アカウント設定」画面を開きます。 Thunderbird を起動します。

[ツール] → [アカウント設定]をクリックします。



 受信サーバー (outlook.office365.com)の認証方式変更 サーバー設定の認証方式を「OAuth2」に変更します。

7711	(E) 編集(E) 表示(M) 移動(G) メッセージ(M)) 予定とToDoLD ツール① ヘルプLD		- 🗆 ×
	π-Δ (D	アカウント設定 ×		
8				
	✓ 図 ユーザID@cc.saga-u.acjp	サーバー設定		
9	サーバー設定	サーバーの新語: IMAP メールサーバ		
	送信控えと特別なフォルダー 提集とアドレス入力	サーバー名(S): outlook.office:	55.com	卜图: 993 🔷 既定值: 993
	迷惑メール 同期とディスク領域	ユーザー名(N): onot@cc.saga	Jacjp	
	エンドツーエンド暗号化 開封確認	セキュリティ設定		
	◇ □□ ローカルフォルダ	接続の保護(U): SSL/TLS	\checkmark	
\$	送葱メール ディスク模岐 認証方式(1):	認証方式①: OAuth2	~	
		通常のバスワ サーバー設定 暗号化された	- ド彩証 パスワード誘証	
	アカウント操作(A) >	✓ 新着メッセージ Kerberos / €	SSAPI	
	✓ 新着メッセ 創 Thunderbird の設定 ✓ 新着メッセ	✓ 新着メッセージ TLS 証明書	認する	
		✓ 新着メッセージ OAuth2	υ	
	静 アドオンとテーマ	メッセージを削除する時:		
		○ 次のフォルダーに移動する(1: 雪ごみ箱 >	
₩-	((*))			

3. 送信サーバー (smtp.office365.com)の認証方式変更

大学の送信サーバー (smtp.cc.saga-u.ac.jp) を設定している場合は、先進認証の設定は不要です。 送信 (SMTP) サーバーを選択し、「ユーザ ID@cc.saga-u.ac.jp - smtp.office365.com(既定)」を選択し、【編集】をクリックします。



認証方式を「OAuth2」に変更し、【OK】をクリックします。

送信 (SMTP) サーバー								
設定								
説明(<u>D</u>):								
サーバー名(<u>S</u>): s	認証なし							
ポート番号(<u>P</u>):	通常のパスワード認証							
	暗号化されたパスワード認証							
セキュリティと認識	Kerberos / GSSAPI							
拉住办但我们。	NTLM							
接続の保護(<u>N</u>):	OAuth2							
認証方式(<u>l</u>):	OAuth2 V							
ユーザー名(<u>M</u>):	ユーザID@cc.saga-u.ac.jp							
		ОК	キャンセル	///				

「アカウント設定」の[×]をクリックし、タブを閉じます。

ファイノ	レ(E) 編集(E) 表示(⊻) 移動(G) メッセ-	ジ(M)予定とToDo(N) ツール(T) ヘルプ(H)	- 0	×
\boxtimes	ホーム	 アカウント設定 × 		
A				^
•	✓ 図 ユーザIDEcc.saga=u.ac.jp サーバー設定 送信控えと特別なフォルダー	送信 (SMTP) サーバーの設定 複数の差出人情報を管理している場合、使用する送信 (SMTP) サーバーをこのリス	(トから選択できます。 [既	
Q	編集とアドレス入力 迷惑メール	定のサーバーを使用する」を選択すると、このリストの既定のサーバーを使用します。 ユーザD/Bicc.saga-u.ac.jp - smtp.office365.com(既定)	追加(D)	
	同期とディスク領域 エンドツーエンド暗号化	Outlook.com (Microsoft) - smtp-mail.outlook.com	編集(E)	
	開封確認		削除(<u>M</u>)	
	ディスク領域		既定値に設定(II)	
	🐻 送信 (SMTP) サーバー			- 1
	アカウント操作(<u>A</u>)	·		
	🕸 Thunderbird の設定			
ŵ	静 アドオンとテーマ			
⊬	ユーザID@cc.saga=u.ac.jp アカウントを	更新しました		~